

# Cisco ASA ローカル パス包含脆弱性

<b>Medium</b>	アドバイザーID : Cisco-SA-20141008-CVE-2014-3391	<a href="#">CVE-2014-3391</a>
	初公開日 : 2014-10-08 16:09	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : <a href="#">6.8</a>	
	回避策 : No Workarounds available	
	Cisco バグ ID : <a href="#">CSCtg52661</a>	

**日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。**

## 概要

Cisco ASA ソフトウェアの環境変数をエクスポートする機能の脆弱性は悪意のあるライブラリをインジェクトし、システムの完全な制御を引き継ぐ認証された、ローカル攻撃者を可能にする可能性があります。

脆弱性は LD\_LIBRARY\_PATH 環境の不適切な設定が原因です。攻撃者は影響を受けたシステムの外部メモリに悪意のあるライブラリをコピーすることおよびシステムのリロードを引き起こすことによってこの脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトは攻撃者が悪意のあるライブラリをロードし、システムの完全な妥協の原因となる可能性がある根本的な Linux OS にアクセスするために影響を受けたシステムを強制することを可能にする可能性があります。

Cisco は Security Advisory の脆弱性を確認し、ソフトウェア アップデートをリリースしました。

この脆弱性を不正利用するために、攻撃者はターゲットのシステムに許可されたアクセスを必要とします。許可されたアクセスは信頼されて、内部ネットワーク 攻撃者がアクセスするように要求するかもしれません。これらのアクセス必要条件は正常なエクスプロイトの確率を制限する可能性があります。

本脆弱性を不正利用する目的で使用できるのは、該当システム宛てのトラフィックに限られます。この脆弱性は単一およびマルチ コンテキスト モードのルーティングされたおよび透過ファイアウォール モード影響を与えます。この脆弱性を不正利用するために、システムのリロードは必要です。デフォルト 設定では、管理はまたはこの脆弱性を不正利用するためにアクセスが必要である 15 に特権を与えます。

Cisco は CVSS スコアを通してその機能エクスプロイト コード存在を示します; ただし、コードは共用利用可能であると知られていません。

## 該当製品

Cisco は次のリンクでバグID [CSCtq52661](#) のための Security Advisory をリリースしました: [cisco-sa-20141008-asa](#)

## 脆弱性のある製品

Cisco は Security Advisory の該当する Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス ( ASA ) ソフトウェア リリースのリストを送達しました。このアラートの「ベンダー アナウンス」セクションは状況報告へのリンクが含まれています。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

## 回避策

管理者は適切な更新を加えるように助言されます。

管理者は信頼されたユーザだけローカルシステムにアクセスすることを許可するために助言されます。

管理者は信頼されたユーザだけネットワーク アクセスをアクセスできることを許可するために助言されます。

管理者は特権ユーザだけ管理システムにアクセスすることを許可するために助言されます。

管理者は信頼された システムだけ影響を受けたシステムにアクセスするように IP ベース アクセス コントロール リスト ( ACL ) を使用することを考えるかもしれません。

管理者は影響を受けたシステムを監視するように助言されます。

## 修正済みソフトウェア

アクティブな契約を持つ Cisco カスタマは次のリンクで Software Center を通して更新を入手できます: [Cisco](#)。契約のない Cisco カスタマは 1-800-553-2447 か 1-408-526-7209 でまたは [tac@cisco.com](mailto:tac@cisco.com) で E メールで Cisco Technical Assistance Center にコンタクトをとってアップグレードを入手できます

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

## 出典

## URL

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20141008-CVE-2014-3391>

## 改訂履歴

Version	Description	Section	Status	日付
1.0	<a href="#">初版リリース</a>	該当なし	Final	2014-Oct-08

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。